

令和4年度（2022年度）

# 事業報告

令和4年（2022年）4月1日～令和5年（2023年）3月31日

公益財団法人庭野平和財団

## [事業活動]

(公益目的事業1)

### I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動を推進する宗教組織および市民組織を次の事業で支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

#### 1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

##### (1) 社会調査

今後実施する社会調査の準備として、石井研士氏（國學院大學教授、当財団評議員）の協力をいただき、「家族の変容」の宗教への影響を共通の問題意識として、宗教社会学の専門家による相互討論形式の研究会（2時間）をオンライン（Zoom ミーティング）で5回実施した。

- <第1回> 令和4年9月5日 「家族の変容」は宗教にどのような影響を与えているか
- <第2回> 令和4年10月17日 宗教と家族 仏教教団内の女性を多面的に見る
- <第3回> 令和4年11月21日 墓制の近代史 現代的動向 先祖祭祀のこれから
- <第4回> 令和4年12月12日 家族と新宗教 昭和初期創立教団の女性指導を中心に
- <第5回> 令和5年1月30日 家族の変容と宗教 イエウキ時代の遺骨のゆくえ

##### (2) 情報・資料収集

被助成事業の進捗や成果等を実地に知るため、採択された団体の行う事業に参加した。

| 月日  | 区分  | 団体／事業  | 場所   |
|---|-----|--|--|
| 4. 17   | NPF | ジャーナリズム支援市民基金／オンラインイベント「ジャーナリズムXの針路 ～日本社会をもみほぐすジャーナリズムは可能か～」       | オンライン                                      |
| 5. 18   | NPF | 大阪ボランティア協会／増補改訂版「日本ボランティア・NPO・市民活動年表」刊行記念の集い                       | オンライン                                      |
| 6. 29、7. 20、8. 25、9. 2、9. 22、10. 24、11. 24、12. 21、R5. 1. 26、2. 22、2. 27、3. 24 | NPF | コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJチーム／コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJ | オンライン他                                     |
| R5. 1. 22   | NPF | 北関東医療相談会/第64回医療相談会   | 埼玉県川口市<br>埼玉県産業技術<br>総合センター<br>(Skip シティ内) |

## 2. 普及啓発事業

公益目的事業（社会調査・資料収集事業、庭野平和賞の事業及び助成事業）の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す。

### (1) 庭野平和賞受賞者記者懇談会(京都) — II. 1. (2) の項参照

令和4年6月17日、第39回庭野平和賞受賞者によるスピーチ、京都宗教記者クラブの記者との質疑応答などによる懇談会を開催した。

### (2) シンポジウム「家族と宗教」

a. 日 時：令和5年3月27日 午後2時～5時

b. 会 場：オンライン（Zoom ミーティング）

c. 概 要：本年度、社会調査に関連して「家族の変容」の宗教への影響を共通の問題意識として5回の研究会を実施した。研究会での成果を基に、研究会のメンバーを発表者とするシンポジウムを開催した。はじめに、研究会の座長である石井研士氏（國學院大學教授）からシンポジウムの趣旨を説明。次いで、石井研士氏、丹羽宣子氏（中央学院大学非常勤講師）、問芝志保氏（東北大学大学院准教授）、寺田喜朗氏（大正大学教授）、鈴木岩弓氏（東北大学名誉教授）から、研究会での議論や実地の調査結果を踏まえて、儀礼文化や家族の中の女性のあり方、家族が担ってきた墓と葬儀のあり方、伝統仏教教団や新宗教など、各自の視点から、家族の変容や世帯構成の変化と私たちの宗教性がどのように変わってゆきつつあるかが語られた。教団付置研究所関係者や市民ら約40名が参加した。

### (3) BNN（仏教NGOネットワーク）活動の促進

BNNの活動の促進に貢献するため、企画委員会等に参加し、BNNが主催する『寺院備災ガイドブック』の普及活動や講演会等の開催に協力した。また、BNN ニュースレターの企画、編集に協力した。

会議日：令和4年9月14日、10月28日、令和5年2月3日、3月15日

### (4) ウェブサイトを利用した情報公開

公益目的事業の内容等の公開につとめた。

## （公益目的事業2）

## II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞として、庭野平和賞の贈呈と庭野平和賞奨励賞の贈呈を行う。また、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

### 1. 庭野平和賞

#### (1) 第39回贈呈式・記念講演

a. 日 時：令和4年6月14日 午後2時～3時

- b. 会 場：オンライン（当財団 HP 特設サイト）
- c. 概 要：第 39 回庭野平和賞贈呈、受賞者による記念講演。マイケル・ラプスレー師（第 39 回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ関係者など約 180 名が参加した。

(2) 第 39 回庭野平和賞受賞者を囲む記者懇談会

- a. 日 時：令和 4 年 6 月 17 日 午後 4 時 30 分～6 時
- b. 会 場：京都東急ホテル（京都市下京区）（受賞者はオンライン参加）
- c. 概 要：第 39 回庭野平和賞受賞者と京都宗教記者会所属記者との懇談会。マイケル・ラプスレー師（第 39 回庭野平和賞受賞者）、京都宗教記者会所属の記者など、約 15 名が参加し、受賞者による発題の後、記者との質疑応答を行った。

(3) 庭野平和賞委員会

第 40 回受賞者の選定並びに第 41 回候補者受付及び審査等の実施

A. 日 程：

|                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 令和 4 年 3 月       | 第 40 回 第 2 次選考（～4 月）        |
| 令和 4 年 6 月       | 第 41 回 一般推薦の推薦状送付           |
| 令和 4 年 9 月       | 第 41 回 一般推薦の締切              |
|                  | 第 41 回 庭野平和賞委員会委員への推薦依頼・受付  |
| 令和 4 年 10 月 31 日 | 執行委員会及び指名委員会の開催             |
| 令和 4 年 11 月 1 日  | 平和賞委員会の開催 第 40 回受賞者選定       |
|                  | その後、調査及び内示の実施               |
| 令和 5 年 1 月       | 第 41 回 第 1 次選考（～令和 5 年 2 月） |
| 令和 5 年 2 月       | 第 40 回 受賞者公式発表（京都、バチカン）     |
|                  | 第 41 回 第 2 次選考（～3 月）        |

B. 第 40 回受賞者の選定

令和 4 年 11 月 1 日に開催された庭野平和賞委員会において、第 40 回庭野平和賞受賞者にインドのラジャゴパール P. V. 氏を選定した。受諾の意思を確認後、令和 5 年 2 月 16 日、京都において記者会見を開き、受賞者の公式発表を行った。

C. 庭野平和賞委員会委員（敬称略）

ランジャナ・ムコパディヤーヤ（委員長）、フラミア・ジョバネッリ、ムハンマド・シャフィーク、ノクゾラ・ムンデンデ、ソブーン・チュングプランプリー、アブラハム・スコルカ、ムニブ・ユナン、アルズー・アフメッド、庭野日鑛

(4) 関連行事

- a. 令和 4 年 6 月 16 日 受賞者と当財団の庭野浩士理事長の対談

2. 庭野平和賞奨励賞

(1) 庭野平和賞奨励賞委員会

第 1 回庭野平和賞奨励賞受賞者の選定

A. 日 程：

令和4年4月～5月 最終候補（6件）へのインタビュー（オンライン）  
令和4年6月27日 庭野平和賞奨励賞委員会の開催 第1回受賞選定  
その後、内示の実施  
令和4年9月 第1回 受賞者公式発表

B. 第1回受賞者の選定

令和4年6月27日に開催された庭野平和賞奨励賞委員会において、第1回庭野平和賞奨励賞受賞者に、スリランカのルキ・フェルナンド氏、インドのジェニファー・リアン氏、インドネシアのアリサ・コトルンナダ・ムナワロ・ワヒド氏を選定した。受諾の意思を確認後、令和4年9月16日、京都において記者会見を開き、受賞者の公式発表を行った。

C. 庭野平和賞奨励賞委員会委員（敬称略）

浅見靖仁（委員長）、小林久美子、神 仁、目加田説子、岩附由香、枝木美香、工藤律子、西出勇志、ウスビ・サコ、ソンブーン・チュングブランブリー

(2) 第1回庭野平和賞奨励賞の贈呈

受賞者の活動地を順次訪問し、賞を庭野理事長から贈呈した。（財団HPに動画掲載）

- ・令和4年9月27日 ルキ・フェルナンド氏 （コロンボ／スリランカ）
- ・令和4年9月29日 アリサ・コトルンナダ・ムナワロ・ワヒド氏  
（ジャカルタ／インドネシア）
- ・令和4年10月4日 ジェニファー・リアン氏 （ボンガイガオン／インド）

（公益目的事業3）

### III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

1. 公募による助成

(1) 実施概要

募集期間： 令和4年9月22日～10月22日  
選考委員会： 令和5年3月13日  
応募件数： 356件  
助成件数： 12件  
助成総額： 10,499,515円  
助成期間： 令和5年4月から1年間

※助成金の送金：国内（5件）4,687,000円 令和4年3月送金済  
海外（7件）5,812,515円 令和5年4月送金予定

(2) 公募助成小委員会（敬称略）

茅野俊幸（委員長）、下澤嶽、工藤律子、牧田東一、内山義英、秀島くみこ

(3) 助成先の決定

公募助成小委員会（選考委員会）で審査し選考した助成先を、理事長の決裁で決定した。

2. 非公募による助成（NPF プログラム）

助成総額 24,480,000 円

(1) 年度計画当初の助成・・・助成額合計 17,480,000 円（11 件）

- A. 市民交流による東北アジアの平和構築事業
  - a. 団体名：KOREA こどもキャンペーン
  - b. 助成額：2,500,000 円
- B. Social Justice を求める市民活動・連携促進プロジェクト（3 年計画の 3 年目）
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金
  - b. 助成額：300,000 円
- C. 子ども被災者支援基金 保養団体支援事業
  - a. 団体名：一般社団法人 子ども被災者支援基金
  - b. 助成額：1,000,000 円
- D. 第 13 回東アジア市民社会フォーラム「市民社会組織による子ども支援」
  - a. 団体名：公益財団法人 公益法人協会
  - b. 助成額：1,260,000 円
- E. 平和にユナイト！パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連携
  - a. 団体名：一般社団法人 平和村ユナイテッド
  - b. 助成額：2,000,000 円
- F. 次世代ジャーナリズムを支援する第 3 回「ジャーナリズム X アワード」の企画実施と運営～持続可能な組織運営を目指して 3 年目のジャンプアップ～
  - a. 団体名：ジャーナリズム支援市民基金
  - b. 助成額：1,600,000 円
- G. シンクタンクによる調査研究、およびその成果発表
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター（JANIC）
  - b. 助成額：1,200,000 円
- H. NPO をはじめとする社会課題に取り組む団体におけるハラスメントの相談対応窓口設立に向けたプロジェクト
  - a. 団体名：特定非営利活動法人 mia forza
  - b. 助成額：1,820,000 円
- I. 日本の子どもの権利を包括的に保障する「子ども基本法」制定に向けたアドボカシー及び啓発活動
  - a. 団体名：認定 NPO 法人 ACE
  - b. 助成額：3,000,000 円
- J. 平和構築のための日韓青年フォーラム

- a. 団体名：日韓和解と平和のプラットフォーム（日韓/韓日プラットフォーム）
  - b. 助成額：1,000,000 円
- K. 9 条世界宗教者会議の WCC（World Council of Churches、世界教会協議会）総会への参加及び9 条世界宗教者会議動画作成
- a. 団体名：9 条世界宗教者会議
  - b. 助成額：1,800,000 円
- (2) 年度内の採択（臨時助成）・・・・・・助成額合計 7,000,000 円（4 件）
- A. コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJ
- a. 団体名：コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデルPJ チーム
  - b. 助成額：2,000,000 円
- B. バングラデシュ国ノンフォーマル教育支援の持続化トランスフォーメーション促進事業
- a. 団体名：認定 NPO 法人アジアキリスト教教育基金
  - b. 助成額：1,000,000 円
- C. 「カンボジア紛争と NGO の歴史」
- a. 団体名：学校法人 神奈川映像学園 日本映画大学
  - b. 助成額：2,000,000 円
- D. 沖縄対話プロジェクト・沖縄台湾対話シンポジウム
- a. 団体名：「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト
  - b. 助成額：2,000,000 円
- (3) NPF プログラム助成小委員会（敬称略）  
川北秀人（委員長）、浅見靖仁、熊岡路矢、米倉雪子、野口陽一  
委員会開催日：令和 4 年 5 月 25 日、12 月 9 日、令和 5 年 2 月 27 日

(4) 助成先の決定

年度計画当初の助成先は、NPF プログラム助成小委員会において予め審査された助成案件を理事会で審議して決定した。年度内の採択（臨時助成）については、年度計画当初の助成が決定された後に申請された、活動が 1 年未満で終了する短期的な案件を NPF プログラム助成小委員会で審査し、その後、理事長による決裁で助成先を決定した。

3. 指定寄付による助成

本年度は、この助成に該当する他団体からの財源の提供がないため実施しなかった。

4. 助成委員会の開催

各助成小委員会の委員長から、助成事業の方針や運営などについて意見を伺った。

## [法人運営]

### I. 総務

#### 1. 法務に関する業務

- (1) 内閣府との連絡、交渉及び法務局への登記事務他

- 令和4年4月5日 役員等の変更の届出(内閣府／電子申請) (監事の選任による変更)  
令和4年6月23日 令和3年度事業報告等の提出(内閣府／電子申請)  
令和4年7月7日 役員等の変更の届出(内閣府／電子申請) (評議員等の選任による変更)  
令和5年3月16日 令和5年度事業計画書等の提出 (内閣府／電子申請)

## 2. 会議に関する業務

### (1) 理事会、評議員会の開催

令和4年5月27日

#### ・第37回理事会

審議事項：令和3年度事業報告及び附属明細書の承認の件、令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件、第26回評議員会の開催の件

報告事項：令和4年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和3年度の寄附受領について、助成先の事業報告について

令和4年6月20日

#### ・第26回評議員会

審議事項：評議員選任の件、理事の選任の件、令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

報告事項：令和3年度事業報告及び附属明細書について、第37回理事会について、令和4年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について、助成先の事業報告について

令和4年6月20日

#### ・第38回理事会

審議事項：代表理事（理事長）及び業務執行理事（専務理事）の選定の件、役員及び評議員の報酬辞退への対応の件

報告事項：第26回評議員会の報告

令和4年8月10日（決議があったものとみなされた日）

#### ・第39回理事会（決議の省略の方法による）

審議事項：第1回庭野平和賞奨励賞贈呈式の実施上の変更の件

令和5年3月1日

#### ・第40回理事会

審議事項：庭野平和賞委員会委員選任の同意の件、令和5年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件、令和5年度資産管理運用基本方針の承認の件、令和5年度役員賠償責任保険加入の承認の件、第27回評議員会の開催の件

報告事項：令和4年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和4年度収支決算見込みについて

令和5年3月9日

・第27回評議員会

報告事項：第40回理事会について、令和4年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和4年度収支決算見込みについて、令和5年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 月例ミーティング

当財団業務の推進にあたり理事長への報告・調整・打ち合わせ等を実施

実施状況：令和4年4月25日、5月30日、6月27日、7月27日、8月29日、9月20日、10月24日、11月28日、12月26日、令和5年1月23日、2月20日、3月20日

(3) 諸会議の開催・運営

3. 監査に関する業務

(1) 監査のための諸資料の準備

(2) 監査の実施

実施日：令和4年5月17日

場 所：当財団会議室

内 容：令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の会計監査及び業務監査

4. 文書管理に関する業務

(1) 各種文書の作成、提出、管理及び保管他

5. 庶務に関する業務

(1) 什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他

(2) その他どの部門にも属さない事項の処理他

## II. 財務

1. 資産運用及び管理に関する業務

(1) 債券等の運用

A. 令和4年10月12日、米ドル建債券の償還金（200万ドル）を、外貨定期預金「銀行解約選択権特約付外貨定期預金（米ドル建て）〈三菱UFJ信託銀行〉」に預け入れた。

B. 令和5年1月31日、米ドル建債券の償還金（100万ドル）を、外貨定期預金「銀行解約選択権特約付外貨定期預金（米ドル建て）〈三菱UFJ信託銀行〉」に預け入れた。

2. 経理、会計、記帳計算に関する業務

- ・現金、通帳の管理（外貨含む）
- ・随時、送金手配（海外送金含む）
- ・日々の伝票記帳、毎月の伝票、月次決算書の作成、確認
- ・源泉徴収税の納付
- ・法定調書の作成
- ・仮払金の管理
- ・寄附金の受付
- ・国税、地方税への対応

### III. 労務

#### 1. 事務局人員構成（令和5年3月31日現在）

|    |        |                    |
|----|--------|--------------------|
| 常勤 | 庭野 浩士  | 理事長                |
|    | 廣中 誠司  | 専務理事 兼 事務局長        |
|    | 仲野 省吾  | 助成・庭野平和賞奨励賞・Web 担当 |
|    | 工藤 夏紀  | 庭野平和賞担当            |
|    | 廣井 由紀子 | 研究/啓発・総務・経理担当      |
|    | 平野 愛奈  | 庭野平和賞・Web 担当       |

#### 2. 人事及び福利厚生に関する業務

- ・ 勤怠管理及び出勤簿、勤怠月報の管理
- ・ 社会保険業務
- ・ 安全衛生及び福利厚生他

以 上

## 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月

公益財団法人庭野平和財団